

朝日新聞〔2021年3月6日(土)朝刊〕「ひととき」欄への読者からの投稿より!

先生は子どもを育て、子どもが先生を育てる!

『先生大好きだから』

いつも朝が苦手な小学校3年の長女が、「明日は絶対に6時に起こしてよ〜。」と言う。そして、いつもは朝ごはんの文句しか出てこないのに、もりもり食べる。

「今日、なんかあるん?」と聞くと、道徳の授業に先生がたくさん見にくるとのこと。長女の先生は23歳。新卒ピカピカ1年目の先生だ。ああ、今日は、初任者の授業研修なのかと思う。長女は先生が大好きだ。「いいクラスやなあって、校長先生たちに思われたいねん。脳みそ働かせて20回発表するで〜。」とえらい意気込みだ。友達ともいっぱい発表しような、と話していたそう。

もうすぐ9歳。難しい年頃で、打てば響くどころか、えらい反発が返ってくる。「わかってるって。」直球ではなく、やんわり変化球で思いを伝えても、「べつに〜。」とかわされる。

それなのに、大好きな先生に対しては、こんなにもストレートに伝えようとしているのが、なんともいじらしい。そして、こんなにも思われている担任の先生との関係がほほえましい。プレ思春期の少々ややこしい娘の素直な一面が見られた2月の朝。すがすがしい「いってきま〜す。」が胸に響いた。

【京都府八幡市 44歳 小学校教諭 お母さん】

小学校教諭のお母さんならではの投稿だと思いますが、本当に素晴らしい内容がたくさん含まれています。立ち止まって原点に戻る校内研修の資料として活用してみてもいいのではないでしょうか。

演習1 『この投稿のどんなところが素敵だと思うか？』

- (1) 研修参加者一人一人が「素敵だな！」と思う点を付箋紙に書き出す。
- (2) OJTチーム等のグループで書き出した内容を交流し、次のような視点で模造紙に類別する。
①小3の長女 ②小学校教諭の母親 ③投稿者の家庭 ④初任者の担任 ⑤校長先生
⑥初任者の学級 ⑦長女の学校 ⑧その他 ※類別した視点を模造紙に記入する。
- (3) 他のグループの書き出された内容や類別の様子を見て回る。
- (4) 見て回っての気づきを交流する。

演習2 『素敵な○○にするためには、どんなことが大切か？』

- (1) グループで視点を決め、一人一人が演習1とは別の色の付箋紙に、素敵な○○にするためには、どんなことが大切かを書き出す。
- (2) グループ内で書き出した内容を交流し、大切なことを類別しながらまとめる。
※時間があれば複数の視点で考えてもよい。
- (3) グループの代表が話し合ったことを発表する。
- (4) グループ発表の内容について意見を交換する。
- (5) 一人一人が取組を宣言する。（短冊等にも書き出してもよい。）
※「○○学校□□宣言！」として、学校としての取組をまとめることもできる。

大切なことは、
どんな○○にしたいか。
夢（目標）をもつこと！

こんな素敵な保護者からのお便りが、担任の先生や校長先生の所に届くととてもうれしいですね。この初任者の先生は、きっとクラスの子どもたちがますます大好きになることでしょう。そして、この投稿が宝物になるでしょう。